

コンゴ(民)月例報告
政治関連
2019年5月

主な出来事

- 12日、アデシナ・アフリカ開発銀行(AfDB)総裁は、ブラザビル-キンシャサ架橋工事(道路及び鉄道)を2020年8月に着工すると発表した。
- 20日、チバラ首相が辞任した。
- 20日、チセケディ大統領はイルンガ・コンゴ国営鉄道会社(SNCC)総裁を新首相に任命する大統領令に署名した。
- 20日、カトゥンピ元カタンガ州知事はルブンバシ市のルアノ空港に自家用機で到着した。同氏の帰国は3年ぶり。
- 30日、コンゴ(民)国軍(FARDC)は、北キブ州ベニ地区でのADF掃討作戦で26名の民兵を殺害したと発表した。
- 30日夜、コンゴ(民)の歴史的野党政治家エチエンヌ・チセケディ元 UDPS 党首の遺体がチャーター機でキンシャサに戻った。
- 31日、故チセケディ元党首の葬儀式典にカガメル・ルワンダ大統領、ロウレンソ・アンゴラ大統領及びサス・ンゲソ・コンゴ(共)大統領が参列した。(なお、6月1日の公式葬儀には、ルング・ザンビア大統領、トウアダラ中央アフリカ大統領、サス・ンゲソ大統領が参列した。)
- 31日、チセケディ大統領は、故エチエンヌ・チセケディ元 UDPS 党首の葬儀のためキンシャサを訪れたカガメ大統領とロウレンソ大統領と三者会談を行った。

1. 内政

(1) 州知事セミナーの開催

・13日、国内18州の州知事及び副州知事を対象とする3日間のセミナーがキンシャサ市で開催され、チセケディ大統領は参加者に対し、「模範となる行動をするよう」求めた。(当館注:国内26州のうち3州(北キブ、マイ＝ンドンベ、サンクル)ではこの時点で州知事選挙が行われておらず、5州(チョポ、マニエマ、オー＝カタンガ、南ウバンギ、赤道)の州知事はこの時点で正式な承認を受けていない)(13日付 AFP)。

(2) メンデ前メディア大臣兼政府報道官の逮捕・釈放

・19日夜、メンデ国民議会議員(前メディア相兼政府報道官で現在はサンクル州知事選挙立候補者)が逮捕され、間もなく釈放された。同逮捕の背景には87カラットのダイヤモンドの存在がある模様(19日付 RFI)。

・24日、メンデ国民議会議員は、19日の自身の逮捕劇に関し、同日オロンゴ副首相兼内務相代理及びコンゴ(民)国家警察諜報局長のアワシャンゴ將軍等を軍事法廷に提訴した(24日付 AFP)。

(3) チバラ首相及び内閣の辞任

・20日、チバラ首相はチセケディ大統領に自身及び内閣の辞任を伝えた(20日付 AFP)。

(4) イルンガ新首相の任命

・20日午後、国営ラジオ・テレビ局(RTNC)はカソongo大統領府報道官による記者会見を生中継し、チセケディ大統領が同日、イルンガ・コンゴ国営鉄道会社(SNCC)総裁(Sylvestre ILUNGA ILUNKAMBA)を首相に任命する大統領令に署名したと報じた。イルンガ新首相は1947年3月生

まれの72歳で、モブツ大統領時代に2度の大臣及び4度の副大臣経験がある。

(5)故エチエンヌ・チセケディ元 UDPS 党首の遺体の帰国

・30日夜、チセケディ現大統領の父親で、2017年2月に亡くなったコンゴ(民)の歴史的野党政治家エチエンヌ・チセケディ元 UDPS 党首の遺体がチャーター機でキンシャサに戻った。31日にはマルティール・スタジアムで市民と遺体の対面、ミサ及び通夜が営まれた。6月1日には、公式葬儀及びミサの後、遺体はキンシャサ市近郊ンセレ地区(N' sele)の故チセケディ党首の霊廟に埋葬される。

(6)UDPS の動向

・8日夜、リメテの UDPS 党本部で、カブンド UDPS 党首代行(国民議会副議長)派とシャバニ元幹事長(Jacquemain SHABANI)派の間で乱闘騒ぎが発生し、警察が介入する事態となった。事の発端は、国民議会副議長に当選したものの党首代行から党首となって党の実権を握りたいカブンドと、党に執行役員制を導入して3名の代表によって党を運営したいシャバニの争いであり、党支持者を巻き込んで催涙ガス弾まで使用される騒ぎとなった。

・18日、カブンド党首代行は、オーギュスタン・カブヤ(元 UDPS 報道官)を幹事長に指名する決定を行った。これに対し党内からは独断的決断との批判が出ている(18日付ロレイ RFI 記者ツイッター)。

(7)野党の動向

ア カトゥンビ元カタンガ州知事をめぐる動き

・1日、軍事法廷は、カトゥンビ氏の傭兵雇用疑惑に関し、カトゥンビ氏の元ボディガード6名への訴追の放棄を決定した(1日付 AFP)。

・6日、カトゥンビ氏は仏メディアのインタビューに答え、20日に空路でルブンバシ市に帰国すると宣言した。カトゥンビ氏は2016年5月20日にルブンバシから出国し、同日でちょうど3年目となる(6日付 RFI)。

・20日午前11時45分頃、カトゥンビ氏はルブンバシ市のルアノ空港に自家用機で到着した。

・23日、カトゥンビ氏はチセケディ大統領と時を同じくし、ラマポーザ南ア大統領の就任式に出席するため南アを訪れた。

イ ファユル ECiDe 党首をめぐる動き

・2日、コンゴ(民)国家警察はバエロンガンディ副長官(司法警察担当)名で、Lamuka 所属のファユル ECiDe 党首を6日、同副長官の元に招請する書簡を同党首に送付した。同書簡は、4月29日にカバンゲ破毀院検事長が同副長官に対し、ファユル党首にかけられた部族的嫌悪(チセケディ大統領の部族であるバルバ族の大量殺戮)の煽動を調査し報告するよう求めたことによるもの。

・4日、コンゴ(民)国家警察は、6日に予定されているファユル党首の召喚を無期限に延期すると発表した。同延期に関し国家警察報道官は、「国民の平静が遮られないため」の指示であるとコミュニケーションで説明した。

・12日、ファユル党首はコンゴ(民)第三の都市キサングニを訪問した。

ウ ムアンダ・ンセミの2年ぶりの出現(再逮捕及び仮釈放)

・6日、2017年3月に逮捕され、同年5月のキンシャサ市マカラ中央刑務所の襲撃による脱獄後に行方不明となっていた Bundu Dia Kongo(BDK.中央コンゴ州を本拠地とする分離主義的宗教集団)の精神的指導者であるムアンダ・ンセミ(Muanda Nsemi)が、オレンガコイ CNSA 議長とともに2年ぶりに記者会見を行い、その様子が RTNC で放映された(7日付 AFP)。

・今回の出現を受け内務相代行は、「ンセミは逃走中の身であり、まずは刑務所に戻るべき」と発言、他方、BDK 側は、「ンセミは刑務所に戻らないアレンジが政府との間でなされている」と発言した。結局ンセミは、9日にマカラ中央刑務所に再収監された(10日付 Actualite.cd 等)。

・10日夜、ンセミは、9日の再逮捕及び収監から24時間以内に仮釈放された(11日付 AFP)。

エ シンディカ・ドコロの帰国

・7日、Twitter 上で「Les Congolais Debout!(コンゴ人よ立ち上がれ!)」という、反カビラ・キャンペーンを行っていたシンディカ・ドコロ(Sindika DOKOLO, ドス・サントス前アンゴラ大統領の娘婿でコンゴ(民)人)が帰国し、11日にはチセケディ大統領と会談した。

オ ニヤムウシ RCD-K/ML 党首の帰国

・31日、約7年に渡り海外で亡命していたニヤムウシ RCD-K/ML 党首(元外相)が帰国した(南ア経由キンシャサ着)(6月1日付 ACP)。

(8) 地方選挙に関する宗教界の動向

・28日、コンゴ・カトリック司教会議(GENCO)とプロテスタント牧師の団体であるコンゴ・キリスト教会(ECC)は、2006年以来実施されていない地方選挙の実施を求める嘆願書への教会での署名を開始した(28日付 AFP)。

2. 外交

(1) セルビア副首相とチセケディ大統領の会談

・18日、チセケディ大統領はコンゴ(民)を訪問中のセルビアのダチッチ副首相と会談を行った。ダチッチ副首相はコンゴ(民)国民の生活向上のための支援を約束した(18日付大統領府ツイッター)。

(2) エチオピア大統領とチセケディ大統領の会談

・18日、チセケディ大統領はコンゴ(民)を公式訪問中のサヘレウォルク・ゼウデ大統領と会談を行った。また同日夜には Cite de l'UA で晩餐会を開催した(18日付大統領府ツイッター)。

(3) ル・ドリアン仏外相とチセケディ大統領の会談

・20日、コンゴ(民)訪問中のル・ドリアン仏外相はチセケディ大統領と会談を行い、教育、保健、治安分野でのパートナーシップを協議した。同会談は、3月にナイロビで行われたマクロン大統領とチセケディ大統領の会談によって実現したもの。

(4) チセケディ大統領の南ア訪問

・23日、チセケディ大統領はプレトリアに到着し、24日にはラマポーザ南ア大統領の就任式に出席した。

(5) 故エチエンヌ・チセケディ元 UDPS 党首の葬儀への外国元首の参列

・31日、マルティール・スタジアムでの葬儀式典にカガメ・ルワンダ大統領、ロウレンソ・アンゴラ大統領及びサス・ンゲソ・コンゴ(共)大統領が参列した。(なお、6月1日の公式葬儀には、ルング・ザンビア大統領、トゥアデラ中央アフリカ大統領、サス・ンゲソ大統領が参列した。)

・31日、チセケディ大統領は、故エチエンヌ・チセケディ元 UDPS 党首の葬儀のためキンシャサを訪れたカガメ大統領とロウレンソ大統領と三者会談を行った。

3. 東部及び大湖地域情勢

(1) ADF がイツリ州で初の襲撃

・1日、ADF(民主同盟軍、ウガンダ系反政府武装勢力)がイツリ州で初めての襲撃を行い、兵士1

名とADFの民兵5名が死亡した。北キブ州から大勢で押しかけたADFは、イツリ州イルム地区にあるチャディ村(北キブ州との州境)を襲撃して同村の病院を略奪し、医師2名とその他3名を誘拐したと述べた(1日付AFP)。

(2)イツリ州のアルペール湖周辺におけるFARDCと民兵の交戦

・2日、イツリ州アルペール湖畔にあるFARDCのムセケレ基地が襲撃され、FARDC兵士4名及び襲撃を行った民兵13名が死亡した。FARDCの海軍司令官によると、この襲撃を行ったのはレントゥ族のメンバーによる武装勢力である(3日付AFP)。

(3)バ=ズエレ州のUNHCR事務所の略奪

・21日夜、約80名の集団がバ=ズエレ州モンガ市のUNHCR事務所等を襲撃し、中央アフリカ難民に配布される予定の生活用品等を略奪した(22日付AFP)。

(4)イスラム過激派組織(ISIL)の犯行声明及び人質の釈放

・23日、イスラム過激派組織(ISIL)は同集団の情報サイトに、北キブ州ベニ地区における2件の襲撃の犯行声明を出した。地元関係者によると、サンボコーチャニチャニ(Samboko-Tchanitchani(もしくはTsanitsani))で何者かが襲撃を行い、数十名が誘拐された(23日付AFP)。

・28日、誘拐されていた市民のうち22名が解放されたが、引き続き6名は誘拐されたままである(28日付AFP)。

(5)ADF掃討作戦で民兵26名が死亡

・30日、FARDCは、北キブ州ベニ地区でのADF掃討作戦で26名の民兵を殺害したと発表した。そのうち23名の遺体は市民に公開された(30日付AFP)。

4. その他地域情勢

(1)クウィル州グング地区での氏族紛争

・5日、クウィル州グング地区の地元当局者は、カウング村(州都キクウィットから147キロ)のバクワマンダ氏族とングドゥ氏族間の紛争により、10名が死亡、6名が負傷(うち2名は警察官)、家屋2軒が放火されたと伝えた。これら両氏族は権力をめぐって揉めており、4月29日夜から30日にかけて、ングドゥ氏族が同村の権力を握り続けていることに抗議し、鉦などの武器によって襲撃したもの(5日付AFP)。

(2)マイ=ンドンベ州マイ=ンドンベ湖での水難事故

・25日夜、マイ=ンドンベ州のマイ=ンドンベ湖で小型船が沈没し、これまでに少なくとも30名の遺体が収容された。これまでに183名が救助されたが、約200名が行方不明となっている模様である(26日付AFP)。

5. その他

(1)キンシャサ-ブラザビル間架橋工事の2020年8月開始予定

・12日、アデシナ・アフリカ開発銀行(AfDB)総裁は初のコンゴ(共)訪問を行い、ブラザビル-キンシャサ架橋工事(道路及び鉄道)を2020年8月に着工すると発表した。総工費は550百万ドルで、うち210百万ドルをAfDFが出資する(12日付AFP)

(2)外務・英連邦閣外大臣(アフリカ担当)のコンゴ(民)訪問

・ボールドウィン(Harriett Baldwin)英国外務・英連邦閣外大臣(アフリカ担当)は、ラマポーザ南ア大統領の就任式に続き26日から29日までコンゴ(民)を訪れ、チセケディ大統領、イルンガ新首相及びマブンダ国民議会議長等と会談を行った。